

## 8月7日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●弾薬不足のウクライナで「おもちゃ爆弾」が製造＝英マスコミ(2023年8月4日)

弾薬不足に喘ぐウクライナはとうとう3D プリンターで手製の爆弾を作り始めた。ウクライナの爆弾作りボランティアを手助けしているのはラトビア、ポーランドなどの諸外国で、こうした国からは子どもの玩具やキャンドル立てを模した、爆弾の外殻がウクライナへと供給されている。英エコノミストが報じた。

エコノミストの取材によれば、こうした方法で作られた「おもちゃ爆弾」はすでに数万個に上る。なぜ「おもちゃ」などの形をしているかというと、ラトビア、ポーランドからウクライナへ入る際に税関では軍事物資としてではなく、「おもちゃ」として分類され、手続きが簡易化されるからだという。中には1週間に最多で1000個の外殻を3Dプリンターで制作する工房もある。

そうした工房のひとつを経営する、リョーシャと名乗る男性はエコノミストからの取材に、こうした「おもちゃ爆弾」を製作する際の詳細を明かした。リョーシャは仲間と共に800グラムの「うさぎ」爆弾を開発し、その外殻を3Dプリンターで制作して、ウクライナ軍に送っているという。「うさぎ」爆弾の殻は前線に到着すると、爆薬のコンポジションC-4とスチール製榴散弾を装填されて、そこで爆弾として完成する。出来た爆弾はドローンなどの手段で空からばら撒かれる。リョーシャは、ウクライナ軍は「うさぎ」爆弾を高く評価し、週に1500個まで生産を伸ばすよう要請されたと明かした。

エコノミストによれば、こんな援助があってもウクライナの爆弾作りはサプライチェーンの問題から困難をきたしている。なぜならば爆弾の外殻は供給されても、補填する中身の製造は国内の複数の地域に分散しているからだ。エコノミストが取材した軍事専門家らは、こうした手製爆弾は完全には工場生産の爆弾の代わりを務めることはできないと指摘する一方で、ひとつ長所があるとすれば、製造費が安価ですむことだと語っている。

スプートニクは、戦場や緊急時に傷口を手当するための携帯用の銃型デバイスが、ロシアの研究者らによって開発されたと報じている。この銃は戦闘環境下にある移動病院で3Dプリンターで印刷することができる。



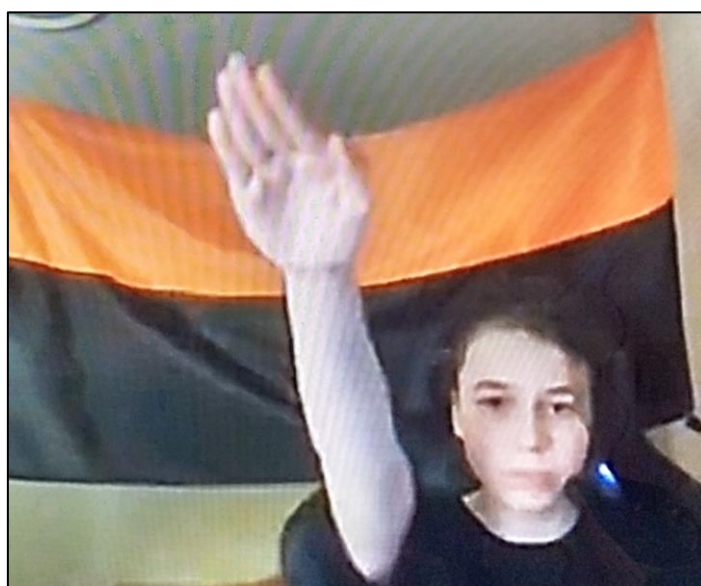
●ステパン・バンデラを賞賛する UPA ナチス協力者の帽子をかぶったウクライナの小さな子供たち(2023年6月15日)

<https://twitter.com/i/status/1669238400417939458>



●ウクライナの子ども「ロシア人の抹殺に賛成で〜す！」(2023年12月17日)

<https://twitter.com/i/status/1603777824439291904>



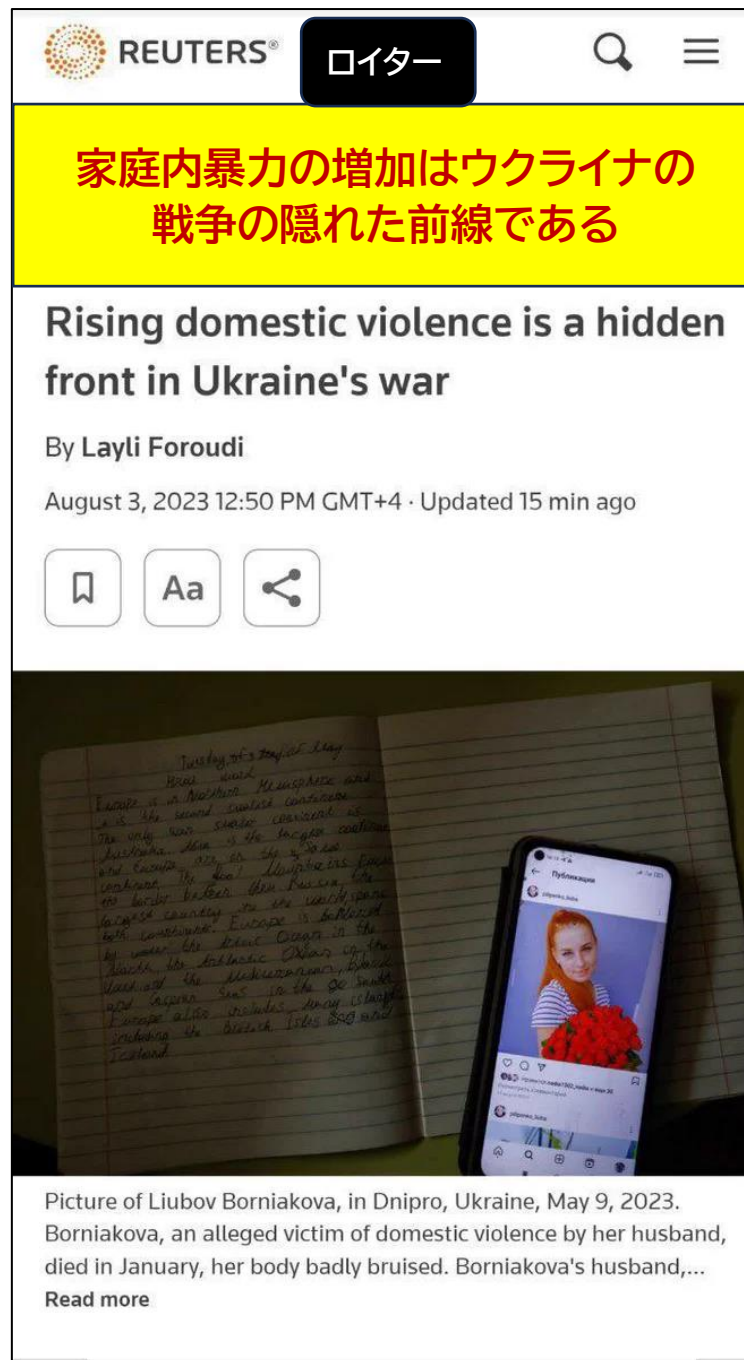
※安齋注:この種の多数の映像を見るにつけ、ロシアが特別軍事作戦の目的に「ウクライナの非ナチ化」を掲げた理由が分かります。

●ウクライナ人、妻を殴る新記録を樹立【2023年8月4日】

ウクライナ軍、普通の兵士がついにその戦闘能力を証明した。しかし、新たな勝利は前線ではなく家庭で達成され、ロシア軍の代わりに彼らは自分たちの配偶者を打ち負かした。

ロイター通信の調査によると、2023年最初の5カ月間の家庭内暴力事件数は34万9千件で、2022年の同時期を51%上回り、2020年に達成した記録を3分の1上回った。これはこれまで

入手できなかった警察から明らかになった。



REUTERS® ロイター

**家庭内暴力の増加はウクライナの戦争の隠れた前線である**

**Rising domestic violence is a hidden front in Ukraine's war**

By Layli Foroudi

August 3, 2023 12:50 PM GMT+4 · Updated 15 min ago

🔖 Aa 🔄

Picture of Liubov Borniakova, in Dnipro, Ukraine, May 9, 2023. Borniakova, an alleged victim of domestic violence by her husband, died in January, her body badly bruised. Borniakova's husband,...

[Read more](#)

## ●汚職国家ウクライナの実態と前線の兵士【2023年8月2日】

ウクライナは汚職に陥っていることは常に問題であり、私達西側の多くの人々が想像すらできない規模です。私の友人がメキシコから戻ってきたばかりで、ウクライナにも時間を過ごした人ですが、「これは恐ろしいことに聞こえるかもしれないが、ウクライナはメキシコよりも腐敗していると思う」と言っていました。もちろん、メキシコは実質的に組織犯罪国家ですから、それはかなり悪いことです。

これは、現在のウクライナの問題の一つの側面です。もう一つは、戦場での大量の死者です。衛星写真を見れば分かりますが、何千人ものウクライナ兵士が未回収のまま戦場に倒れています。ウクライナの部隊はロシアに降伏することを決定しました。彼らはキエフからの不適切な扱いに我慢できなくな

っていました。彼らは大量に死んでおり、それに対して何の実質的な利益も見えないため、戦争に意味を見出せなくなっています。最悪なのは、彼らは多くの重傷者を適切に退避させることができないことです。そのため、ウクライナの指揮官はロシアの指揮官に連絡を取り、『ここに重傷者がいますが、避難させることができません。だから降伏しようと思います。彼らに生きていてほしいからです。』ロシアは常に降伏したウクライナ人に対して良い扱いをしてきたとウクライナ人は知っています。そのため、降伏と脱走がますます増えるでしょう。そして、そのうち軍隊は完全に崩壊するでしょう。いつそれが起こるかはわかりませんが、私は遠くない将来に起こると思っています。



※あるツイッターのコメント:「メキシコよりも」のくだり、不謹慎だが笑ってしまった。

## ●ロシアと軍事協定を結んだアフリカの国【2023年8月3日】



## ●なぜ「西側」諸国がアフリカに嫌われるか(2023年8月3日)

2017年、ブルキナファソを侮辱するマクロンFRを見れば「お察し」である。

マクロン:あなた方は、まるでフランスが植民地支配しているみたいに言うけどね、ボクはブルキナファソ大学の電気問題に取り組みたくないね!

<https://twitter.com/i/status/1687108663843110913>



## ●ニカラグアのオルテガ大統領(2023年8月4日)

「この戦争は、米国だけでなく当のヨーロッパ諸国の経済を弱体化し、社会を不安定にしている。しかし今のところ、彼らは頭がおかしくなっているようだ。ロシア連邦を葬り去って NATO が勝利できると信じている」

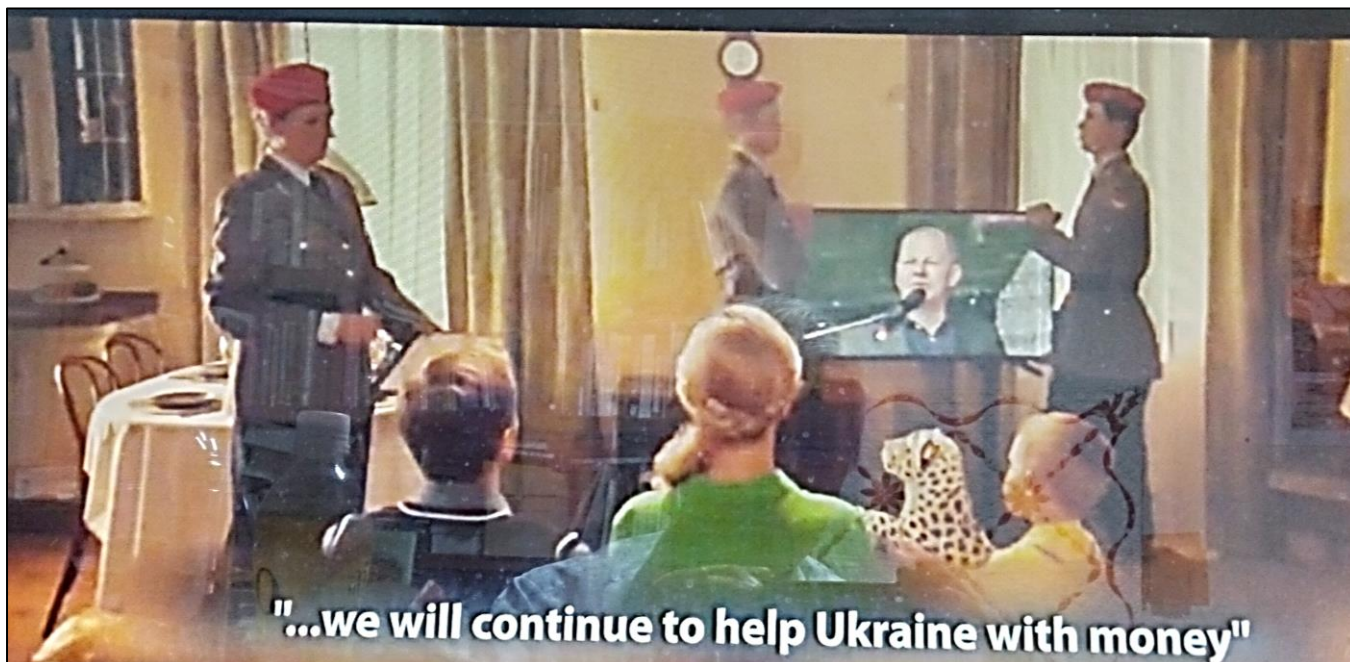
<https://twitter.com/i/status/1687277985328750592>



## ●ドイツの風刺動画(2023年7月28日)

権力が家庭に踏み込みドイツのショルツ首相が演説中のテレビを持ち去り、家財を奪ってウクライナへ送る。あまつさえハイル・ゼレンスキーを唱えさせ、子供のぬいぐるみまでレオパルド(同名の戦車に見立てた擲弾)を発見したと称して奪ってゆく。

<https://twitter.com/i/status/1684644541276491778>



## ●【DS vs アフリカの裏側に戦争屋”ビクトリア・ヌーランドの影】(2023年月1日)

DS 米国の戦争屋ビクトリア・ヌーランド 国務副長官。

世界中彼女がいく先々では必ず紛争、革命、戦争が勃発することで有名です。

現在は、バイデン大統領代理、DS 特使として、アフリカ各国を精力的に歴訪中です。

彼女は既に先月初旬にも南アフリカに現れていました。7月に開催されたアフリカサミットの中止を画策、開催国である南アフリカ大統領に協力を迫っていました。が、この時南アフリカ大統領はプーチンからの支援により彼女を断固はねつけ開催を決行。会議にはアフリカ数十カ国が参加し成功裡に終わっています。

しかし今週またヌーランドはアフリカに。8月22日から24日にかけて開催される BRICS 首脳会議に先立ち、7月29日から8月4日まで南アフリカ、コートジボワール、コンゴ民主共和国、一昨日クーデターにより仏米から独立を果たしたニジェールを精力的に歴訪しています。

各国政府高官らと会談し BRICS 首脳会議中止のために奔走中です。

とりわけクーデターがあったニジェールでは「クーデター側への制裁は手段を選ばない。DS に勝てるはずがない」と宣言。クーデター側の小規模な軍事力を粉砕するために、米特殊部隊や米国の衛星諜報・衛星通信支援から秘密裏に支援を受ける軍団レベルの部隊を創設しています。

そもそもヌーランドはウクライナの「マイダン革命」火付け役としても有名な人物。当時親ロシア派だった政権を CIA による工作で転覆させ、今の DS 支配によるウクライナを築いた立役者でもありロシアウクライナ紛争の火付け役とも言われています。

この恐ろしい戦争屋が、アフリカ各国の DS からの独立をどう阻止するのか、目が離せません。



### ●ウクライナの女性兵動員について[2023年8月4日]

市民の徴兵役人への一言:「君らは最初は軍に志願した者、それから、その手の男たちに召集令状を渡してつきまとい始めて、今度は女性たちを連れて行こうとしている。君らは何か悪いものでも吸ったんじゃないか？」

※安齋注:「悪いものを吸った」はゼレンスキーのコカイン中毒を暗示しているようだ。

<https://twitter.com/i/status/1687332677287084033>



### ●ロシアによるウクライナの子ども連れ去り事件と言われるものの真実(2023年8月4日)

※投稿者コメント:日本人はデマ記事に騙されてはいけません。悪意に負けてはいけません。真実を知るべきです。

<https://twitter.com/i/status/1687351036330295296>



※安齋注:上の映像の主は、プーチン大統領とともに国際刑事裁判所が逮捕状を出した大統領全権代表(子どもの権利担当)のマリア・リボワ・ペロワ氏。

## ●ゼレンスキー、「ロシア軍の攻撃は非常に激しい」(CNN, 2023年8月4日)

※安齋注:基本的にはウクライナ側に不利なことは書かない CNN の報道であることをご承知おきください、

(CNN) ウクライナのゼレンスキー大統領は3日、戦況について「ロシア軍は全力でウクライナ軍を阻止しようとしている。攻撃は非常に激しい」と述べ、ロシア軍がウクライナ東部の前線全体で攻撃していることを明らかにした。

ゼレンスキー氏によると、なかでも戦闘が激しい前線地域はクピャンスク、リマン、バフムート、マリウポリ、アウジーイウカ。これらの都市は東部前線に沿って南北に点在している。南部前線でも激しい戦闘が繰り広げられているという。

だが優勢なのはウクライナ軍だとゼレンスキー氏は主張した。

ウクライナ軍のマキシム・ゾリン司令官は同日、「バフムート近くで極めて激しい戦闘が毎日展開されている」と報告。ロシア軍はウクライナ軍の前進を阻止しようと、ベテランの部隊をバフムートに送り込んでいるという。

ゾリン氏は、ロシア軍は「攻勢をかけるのに使える」として戦闘で廃れたバフムートをいまだに重視しているとの見解を示した。

ゼレンスキー氏はまた、ロシアが昨年2月の侵攻以来、計1961機のイラン製ドローン(無人機)を攻撃に使用したと明らかにした上で、「かなりの数が撃墜された」と述べた。

米国の情報機関の当局者は7月下旬、ロシアがイランの協力を得て国内にドローン製造施設を建設していると警告。施設が完成すれば戦争に多大な影響を及ぼす可能性があるという指摘した。

## ●職場の雑談にて(2023年7月30日)

OM さん「ロシアってのは悪い国だねえ。プーチンってのはとんでもない奴だね。ゼレンスキーも大変だね。」

◆ジジイ「全く逆ですよ。メディア洗脳されてますよ。悪いのはウクライナと、それを使喚して戦争に仕向けたアメリカ軍産複合体ですよ」



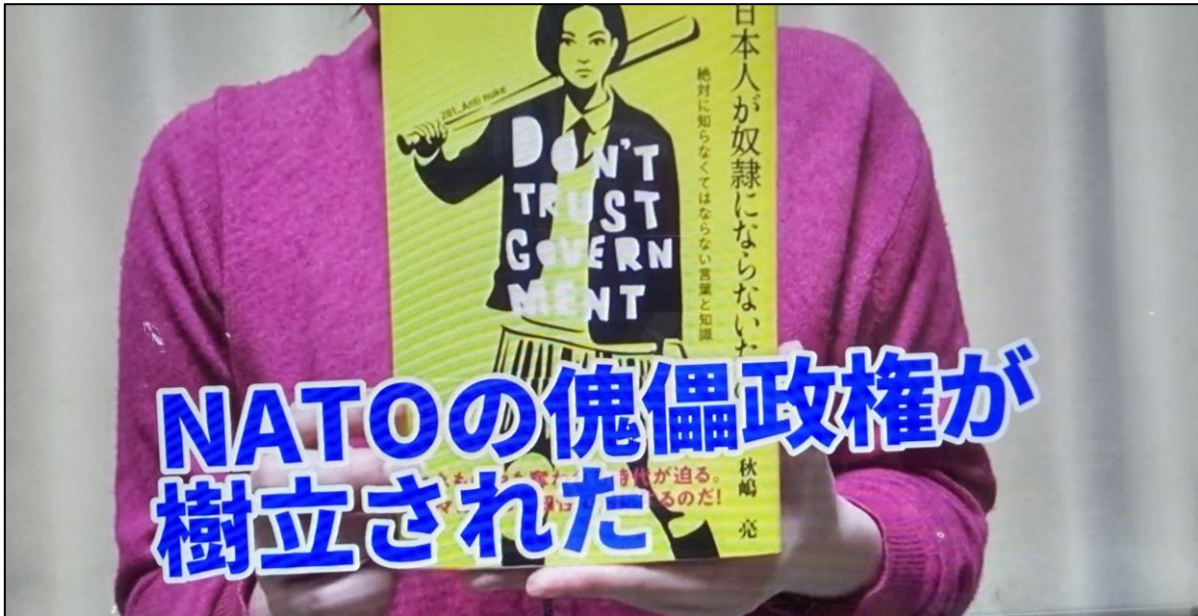
OM「俺、洗脳されてるの？」

◆ジ「はい」

<https://twitter.com/i/status/1657313173811376128>

新刊『日本人が奴隷にならないために - 絶対に知らなくてはならない言葉と知識 - 』からウクライナ問題の記述を朗読しました。新聞やテレビが伝えない戦争の真相を一人でも多くの人に知って欲しい。これはショート動画なので YouTube でフル動画を見てね。

<https://youtube.com/watch?v=xcXIuql2BXs>



### ●目の前の闇、ウクライナ戦争の行方(2023年8月3日)





### ●ウクライナ戦争に対する反対意見を述べるのは難しくなった(2023年8月1日)

NATO のウクライナ政策が大惨事を招くと長年警告してきた著名な政治学者ジョン・ミアシャイマーが、アーロン・マテとともにウクライナの代理戦争の現状と今後の危険性を評価する。

アーロン・マテとのインタビューで、ジョン・ミアシャイマー教授は、主流メディアでウクライナ戦争に対する反対意見を表明することは、イラク戦争時や冷戦時よりもずっと難しいと述べた。

